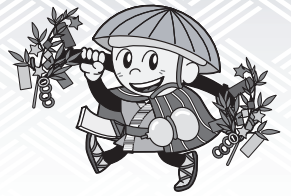


わだいな

身近なできごとや旬の話題を、企画振興課
秘書広報担当（役場 1階・秘書広報担当）
までお知らせください。（☎ 6550）
皆さんからの情報をお待ちしています!!



見て、触れて、食べて学ぼう

琵琶湖博物館が「日野で自然観察会」を開催



▲葉っぱにもさまざまな特徴が



▲タンポポやノビルなど、たくさんの草花を天ぷらにして食べました

新緑が美しい5月26日（日）、日野川ダムの周辺で植物や鳥の観察会が行われました。
この取り組みは、琵琶湖博物館が橋本忠太郎顕彰会の皆さんの協力のもと行われたものです。参加された方は、メモや写真をとりながら熱心に説明を聞いておられました。
観察会では講師の説明のもと希少な植物以外は自由に採取することができ、観察会終了後、食べられる草花を天ぷらにして味わいました。

ごみのない美しいまちに

日野町ごみゼロ大作戦



◀ごみの回収や搬出を皆さんが協力して行われました

5月30日は、滋賀県ごみの散乱防止に関する条例に基づき環境美化の日です。この日にちなみ、6月2日（日）、日野町ごみゼロ大作戦を実施しました。
81名の参加のもと、3つのグループに別れ、国道307号を中心にごみを回収されました。溝の中のごみや、狭いところに入り込んだごみなどを参加者同士で協力し、約100袋（110kg）のごみが回収されました。
この取り組みは、各地域や集落などでも行われ、皆さんの手によって美しいまちが保たれています。



みんなが楽しく集える場所になるように

つどいのひろば「はじめましての会」



▲愛称は「ぼけっと」に決まりました

歌に合わせて遊びました



児童交流施設（旧桜谷幼稚園舎）で行われている「つどいのひろば」の愛称が6月3日（月）に行われた「はじめましての会」で発表されました。
愛称は応募があった中から投票で「ぼけっと」に決まりました。この愛称には、童謡のふしぎなポケットのように、この場所に訪れたら何か楽しいことがあるといいな、という思いが込められているそうです。
はじめましての会には約50組の親子が参加されました。パネルシアターサークル「花咲きまま」さんやわらべ子育て支援センターの皆さんと一緒にふれあい遊びを楽しみ、ホールは子どもたちの笑い声に包まれました。



まぢの



▲生徒の皆さんから歌のお礼をされました

◀たくさんの生徒が涙しながら、別れを惜しましました。

「またきいや、待っているで!」

農村生活体験を実施中

町には、今年22学校約3,300人の学生が、農村生活体験で訪れています。6月5日(水)、6日(木)には、神戸市立向洋中学校が訪れ、1泊2日の民泊を体験されました。

生徒たちは蛍の観察や、畑の作業を行い、都会では味わえない体験を楽しみました。わずか1泊2日の体験でしたが、生徒たちはたくさんの思い出がつかれたようで、「力エルの合唱を聞いた」や「採りたての玉ねぎを食べた」など楽しそうに話してくださいました。

離村式では、受け入れ家庭の方と抱き合いながら別れを惜しみ「また来ます」と涙を見せながら話されていました。

日野の原産日野菜を育てよう

南比都佐小学校

今年も各小学校で、農業を体験する取り組みをされています。6月5日(水)には、南比都佐小学校で日野菜を植えるため、乾燥させた日野菜から種をとる作業をされました。

子どもたちは、地元の曾羽松司せわしよしさんの指導のもと、日野菜をふるいにかけたり、昔ながらの機械を使ったりして種をとりました。

小学校では、8〜10月ごろに日野菜の種をまき、11月には収穫し、調理体験をされる予定です。



▲日野菜の種をとるためには、たくさんの作業が必要です

地域のことを語り継げるように

ふるさと鎌掛の歴史学習会を開催

6月9日(日)、鎌掛公民館でふるさと鎌掛の歴史学習会が開催されました。

この取り組みは、ふるさとの歴史を次代へ語りついでいけるよう、瀬川欣一せがわのさんが書かれた文献などから学びを深めようと開催されているものです。

学習会では福本英一ふくもとひでかずさんが講師となり、「弥生土器を発見されたのは、〇〇さんのお父さんですね」など、親しみやすい話題でお話しされました。鎌掛の歴史や成り立ちを学べる良い機会となりました。



▲熱心に学ばれる皆さん